

Selenium

基本コマンド

reference



openコマンド

指定したURLを開く

(書式)

- ターゲット: URL (相対パス/絶対パス)
- バリ्यूー: なし

(例)

open	/SeleniumApp/index.jsp	
open	http://192.168.0.1/Sample/index.html	

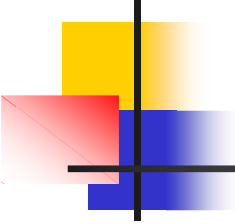


click/clickAndWaitコマンド

- ボタンやリンクをクリックする
 - ~AndWait ...ページをロードする場合
- (書式)
- ターゲット: ElementLocator
 - リンクの場合は「link=リンク文字列」指定可
- バリ्यूー: なし

(例)

click	id=registbtn	
clickAndWait	link=社員一覧へ戻る	



typeコマンド

- テキストボックスなどに文字を入力(タイプ)する

(書式)

- ターゲット: ElementLocator
- バリュー: 入力する値

(例)

type	name=empName	山田 太郎
type	id=searchKeyword	google



check/uncheckコマンド

- チェックボックスやラジオボタンを選択状態/非選択状態にする

(書式)

- ターゲット: ElementLocator
 - nameとvalue/indexの組合せが有効
- バリ्यूー: なし

(例)

check	name=gender value=男性	
uncheck	id=lostflgchk	



selectコマンド

- select要素(コンボボックス)から選択肢を選ぶ(書式)
- ターゲット: select要素のElementLocator
- バリ्यूー: option要素を特定する書式
 - label=ラベル文字列/value=value属性値/id=id属性値/index=インデックス番号

(例)

select	name=belongDept	label=総務部
select	id=ColorCombo	value=red



assertTitleコマンド

- 現在ページのtitleを検証する
<head>の<title>文字列を検証

(書式)

- ターゲット: タイトル文字列
- バリ्यूー: なし

(例)

verifyTitle	MyApp 社員一覧	
assertTitle	GRUE-ディレクトリ	



assertTextPresentコマンド assertTextNotPresentコマンド

- 現在のページに指定した文字列が表示されているか/表示されていないか検証

(書式)

- ターゲット: 表示される文字列
- バリ्यूー: なし

(例)

verifyTextPresent	社員一覧	
assertTextNotPresent	error!	



assertElementPresentコマンド

assertElementNotPresentコマンド

- 現在ページに指定したHTML要素があるか/無いか検証

(書式)

- ターゲット: ElementLocator
- バリ्यूー: なし

(例)

verifyElementPresent	id=emptable	
assertElementNotPresent	name=adminOnlyButton	



assertTableコマンド

- 指定したテーブルのセルの文字列を検証
(書式)
- ターゲット: tableのElementLocator.行.カ
ラム
 - 0始まりで行数とカラム数を指定する
- バリュー: 検証する文字列
(例)

verifyTable	id=emptable.2.1	データ 花子
assertTable	searchresult.5.0	結果6



assertTextコマンド

- 指定した要素の文字列を検証
(書式)

- ターゲット: ElementLocator

- バリュー: 文字列

(例)

verifyText	xpath=//h2	社員一覧
assertText	xpath=//select/option [@value='2']	金融1部



assertConfirmationコマンド

- 確認ダイアログの文字列を検証
 - 検証成功なら、“OK”ボタンを押した動作

(書式)

- ターゲット: 検証する文字列
- バリュー: なし

(例)

assertConfirmation	削除してよろしいですか？	
--------------------	--------------	--



waitForPageToLoadコマンド

- 新たなページがロードされるのを待つ
 - clickコマンド(~AndWait無し)やassertConfirmationと組み合わせて使用

(書式)

- ターゲット:タイムアウト(ミリ秒)
- バリ्यूー:なし

(例)

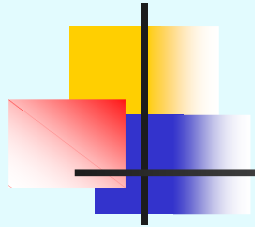
click	id=registbtn	
waitForPageToLoad	5000	

chooseCancelOnNextConfirmationコマンド

- 次の確認ダイアログでキャンセルする
(書式)
- ターゲット: なし
- バリュー: なし

(例)

chooseCancelOnNextConfirmation		
click	id=registbtn	
assertConfirmation	よろしいですか？	



テストケースの 書き方基礎

テストケース基本書式

- テストケースはHTMLで書く
- テスト内容=tableに記述。1行1手順
- 3カラムで構成。コマンド、ターゲット、バリュー

テスト名		
コマンド1	ターゲット1	バリュー1
コマンド2	ターゲット2	バリュー2
:	:	:

1行1手順

HTMLのtableソースコード

```
<table border="1">
<thead>
<tr><td colspan="3">テスト名</td></tr>
</thead>
```

1行目はテスト名を記述
3カラムを結合

```
<tbody>
<tr>
  <td>コマンド 1</td>
  <td>ターゲット 1</td>
  <td>バリュー 1</td>
</tr>
<tr>
  <td>コマンド 1</td>
  <td>ターゲット 1</td>
  <td>バリュー 1</td>
</tr>
</tbody>
</table>
```

1行1手順を示す
3カラム



テストケースのtable例

- 例えば、以下のログインテスト項目
 - 手順1: ログイン画面のURLを開く
 - 手順2: 社員番号のテキストボックスに123と入力
 - 手順3: ログインボタンをクリック
 - 手順4: ログイン後のホーム画面に遷移したことを確認
- 以下のようなtableをHTMLで作成する

ログインテスト		
URLを開く	ログイン画面のURL	
入力	社員番号	123
クリック	ログインボタン	
検証	titleが「ホーム画面」か	



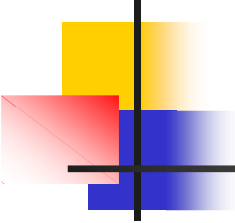
コマンドの種類

- Action ...ユーザ操作をシミュレート
- Accessor ...指定した要素の値を取得
 - 形式: store~
- Assertion ...検証
 - 形式: assert~、veriffy~、waitFor~
- 各コマンドのターゲットやバリューについては「Selenium0.7日本語リファレンス」参照



ElementLocator

- コマンドの操作対象であるHTML要素を特定するもの
- いくつかの書式がある
 - id=id属性値
 - name=name属性値
 - link=リンクの文字列
 - その他、DOMやXpathで指定可能
- 詳しくは利用手順書20ページ参照



HTMLソースの確認

- Seleniumが認識するHTMLは、ブラウザ上のHTMLソース（JSPではない）

⇒ブラウザ上で右クリックー「ソースの表示」で表示される

- ソースを複数文字コード対応エディタで見れるようにしておくこと

(参考: @ITの記事)

<http://www.atmarkit.co.jp/fwin2k/win2ktips/286iesourceview/iesourceview.html>



HTML要素の確認

- ElementLocatorの基本は、id属性、name属性、value属性

⇒対象とするHTML要素がどんな属性か？

(例)

社員番号の入力テキストボックス

```
<input type="text" name="empId" value="" >
```



文字列マッチング

- 文字列のマッチングパターンとして3つの書式が使用可能
 - デフォルト: ワイルドカードが使用可能。“*” (複数文字列), “?” (1文字)
 - 正規表現
 - 正確な同一マッチング
- 詳しくは利用手順書の21ページ参照